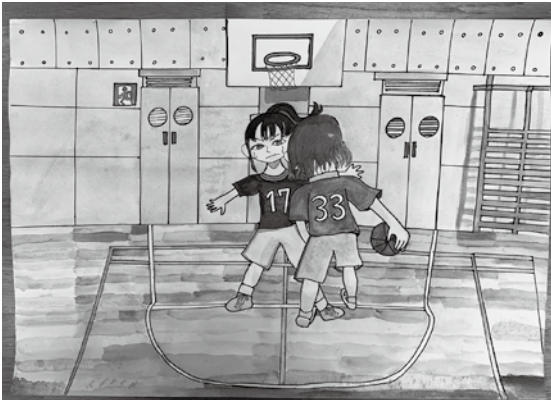


**あせを流した体育館**  
 6年 奥田 鈴おくだ ね

この絵は、小学校の中で一番心に残っている、体育館をえがきました。体育館をえがいた理由は、バスケの習い事で、体育館を使って練習する日が多くあったからです。この絵の見どころは二つあります。一つ目は、自分と相手の体を、大きくえがいているところです。そうえがく事で、見ている人にはく力が伝わるからです。ユニホームにも注目してみてください。二つ目は、体育館のゆかの色合いです。茶色でも、よく観察してみると、こい茶色や、うすい茶色など一枚一枚のゆか板がちがう色だと気づきました。ゆかの色を、しっかりと再現できるように工夫しました。

私は、小学一年生のころからバスケットボールを習いはじめました。練習していたことや、教えてもらった技が上手にできなくて、くやしい思いをしたことがありました。試合でも、思うような結果が出せなかった時もありました。でも、辞めたいと思った事は、一度もありませんでした。仲間と協力する大切



さや、はげまし合う事、くやしい思いをした時には、あきらめずに立ち向かう勇氣など、バスケットボールから、たくさんの事を学びました。

私をたくさん成長させてくれた、思い出いっぱい美南小学校の体育館が、大好きです。



市長コラム  
**「価値ある未来を、共に」**



問合せ

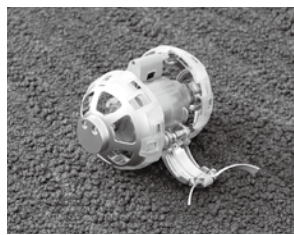
政策室

☎982・5112 FAX 981・5392

**月と吉川市**



▼小型月着陸実証機「SLIM」とX線分光撮影衛星「XRISM」が搭載された日本のロケット「H3」が、9月7日、鹿児島県の種子島宇宙センターから無事に打ち上げられました▼そんな「H3」のロケットの今回の打ち上げ、実は吉川市とも関連があるのです。というのも、搭載されている小型月着陸実証機「SLIM」には、吉川市が創業の地となる玩具メーカー「タカラトミー」さんがJAXAなどと共同開発した変形型月面ロボット「SORAQ」が搭載されているのです▼「SORAQ」は「SLIM」が月面に着陸する直前に放出され、月面に着陸すると、一瞬にして左右に広がるように変形。「SLIM」が月面に着陸する様子や月の様子を撮影し、その画像データを地上に届けます▼玩具「トランスフォーマー」など、変形するロボットを数多く開発している「タカラトミー」さ



んが、その技術を活かしての月面ロボット開発。約100年前に、タカラトミーを創業された、創業者・富山栄市郎氏とみやま えいちろう（吉川市平沼の思いも詰まったロケット打ち上げだったのです▼吉川市ではこれまでに、富山栄市郎氏の功績をまとめたリーフレット「富山栄市郎物語」を発行したり、今後、記念展示も計画しています。この日は、職員が手に入れた「SORAQ」のリアル模様の試走を市長室で行い、月へ思いをはせました▼ロケットから無事分離された、月探査機と観測衛星。探査

機は年末ごろ月の周回軌道に到達し、着陸は年明けの予定。皆さんと共に、月面着地を楽しみに待ちたいと思います。